

11 月 12 日の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて11月12日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

11月12日に基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 (11/11)	基準価額 (11/12)	変化率
ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド	4,266 円	4,025 円	-5.65%

【主要株価指数の動向】

株価指数(※)	11 月 10 日終値	11 月 11 日終値	変化率
ダウ工業株 30 種平均(米国)	8,870.54	8,693.96	-1.99%
FT100 指数(英国)	4,403.92	4,246.69	-3.57%
DAX 指数(ドイツ)	5,025.53	4,761.58	-5.25%
CAC40 指数(フランス)	3,505.75	3,336.41	-4.83%
TOPIX(東証株価指数)	889.36	875.23	-1.59%

※海外の株価指数は 11 月 11 日と 11 月 12 日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。

(出所)ブルームバーグ

【為替レートの動向】

為替レート	11 月 11 日の評価値	11 月 12 日の評価値	変化率
ドル/円	97.50	97.55	+0.05%
ユーロ/円	123.81	122.32	-1.20%
英ポンド/円	151.93	150.40	-1.01%
豪ドル/円	64.90	64.26	-0.99%

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

(出所)ブルームバーグ

【基準価額下落の要因】

上記ファンドの基準価額が下落した要因は、海外の株式市場の下落とユーロなどに対する円高です。加えて、当ファンドが主要投資対象としている世界のプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業に対する業績懸念が高まり、主要銘柄の株価が急落したことも下落要因となりました。

【海外株式市況】

11月11日の欧州株式市場は全面安の展開となりました。アジア市場の下落に加え、欧州のマクロ経済指標が大幅な悪化を示したため、前日(10日)の上昇を上回る反落となりました。最近落ち着きを見せていた金融セクターも大幅安となりました。

主要指数は、英国のFT100指数は3.57%、ドイツのDAX指数は5.25%、フランスのCAC40指数は4.83%の下落となりました。

米国の株式市場はベテランズ・デー(退役軍人の日)で債券市場が休場だったため、薄商いとなりましたが、個別企業の業績悪化やエネルギー価格の低下を受けて続落となりました。特に自動車セクターで資金繰り懸念が強まり、ゼネラル・モーターズ(GM)やフォードの株価が急落しました。アナリストの格下げから保険株が売られ、原油価格が60ドルを割ったことを受けてエネルギー関連銘柄も下落しました。

主要指数ではダウ工業株30種平均が1.99%の下落となったほか、S&P500種株価指数は2.20%、ナスダック総合指数は2.22%の下落となりました。

【プレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業の株価動向】

11月11日の欧州市場では高級ブランド品関連の銘柄が大きく売られました。金融不安が実態経済に与える影響が懸念される中、前日(10日)に有力証券会社のアナリストが業界全体の業績見通しを引き下げたことから、当セクターに対する業績不安が高まりました。さらに、11日に上海で開催された業界セミナーでモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン・グループの中国担当責任者が、「来年に向けて警戒的なスタンスをとるのは妥当な考えで、ブランド品は影響を受けないという考え方は全く甘い」と発言したことなども、投資家心理に影響を与えたとみられます。

当ファンドの組入れ上位銘柄では、クリスチャン・ディオールが11.6%、フィナンシユール・リシュモンが9.7%、スウォッチ・グループが11.1%の下落となったほか、米国自動車セクターの影響もあってBMWが5.7%の下落となりました。

【外国為替市場】

外国為替市場では欧州通貨を中心に円高の動きが続きました。米ドルは株式市場が安値水準から回復したことからしっかりとした動きとなりましたが、欧州通貨は金利引き下げ見通しが強いことも影響して、弱含みの展開となりました。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15%(税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89%(税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。